

高知県代表：明德義塾高校OB

1. チームスローガン

よみがえらせろ、明德魂

2. チーム紹介文

結成1年目ながら創部初期OBから新卒OBまで心はひとつ。今年は学校創立50周年。全員燃えています。

3. これまでの甲子園出場回数

春（選抜）	20	回
夏（選手権）	22	回
秋（マスターズ甲子園）	0	回目

4. TEAM TOPICS

- ① 令和4年5月に高知県高校野球連盟が発足。第1回高知県大会では惜しくも準優勝となりましたが中国・四国ブロック大会から甲子園を目指せることになり大変喜んでいます。
- ② 創部初期のOBから新卒OBまで幅広い世代が全国から集まってチームを編成しており、OB会自体の活性化にも繋がっています。
- ③ 全体で練習がほぼ出来ないなので試合は当日の気合で乗り切ります。コンディションや現在の体力レベルは全て自己申告なので試合になってみないと調子がわからないのが弱みです。
- ④ 令和5年は母校の創部50周年なのでなんとしても甲子園に出たく、各自練習やダイエットに取り組んでいこうと皆で誓い合いました。メンバーの再会を楽しみにしています。
- ⑤ マスターズは参戦して間もないので勝手がわからないことも多いですが、相手校さまの胸を借りるつもりで頑張りたいです。よろしくお願いします！

5. PLAYER'S PR

- ① 背番号： 1 番 選手名： 弘田 旬
明德甲子園初出場時のエース。1982年センバツ2回戦で箕島高校と延長14回の激投の末、敗退。マスターズ高知大会では秘密兵器として温存されたが秘密のまま大会は終了した。現役当時の制球力がいまだ健在であるかは謎。彼をもう一度甲子園のマウンドに立たせることが後輩たちの想い。
- ② 背番号： 2 番 選手名： 梅田 大喜
2022年夏の甲子園にレギュラーとして出場しいきなり優勝。5季連続の甲子園が全て背番号1桁での出場はPL学園清原和博氏以来だった。3年時は高校ジャパン主将として世界大会にも出場し準優勝に貢献した。現在は遠投15メートルに届かない。人生初のバット引き係も辞さない覚悟で大会に臨む。
- ③ 背番号： 7 番 選手名： 沖田 浩之
甲子園4回出場。2年時、3年時に高校ジャパン。2002年夏の甲子園では3回戦の常総学園戦で起死回生の同点ホームラン。悲願の初優勝に大きく貢献した。このホームランの前の守備機会の件で、先輩エース田辺から無言の圧を受けながらの厳しい打席だったことは今ではお酒の席でのネタである。
- ④ 背番号： 18 番 選手名： 近田 豊年

1983年春ベスト4。元南海、阪神。日本プロ野球初の両手投げ投手である。マスターズでも両手用グローブを使用して打者を翻弄する予定だが、チームメイト達からは「今回もストライクが入るかが課題。というか問題。」と信頼を寄せられている。連日自主トレに励んでおり体は仕上がっている。

⑤ 背番号： 20 番 選手名： 北野 薫

1982年春出場、1983年春ベスト4。明徳の甲子園の初本塁打を記録したレジェンドである。特に1983年春は18打数9安打4打点3盗塁1失策と走攻守三拍子の活躍。初戦の青森北高校戦で豪快にレフトラッキーゾーンへポトリと叩き込んだ。今ならレフトフライだったのでは？がお酒の席の話題。

⑥ 背番号： 50 番 選手名： 安田 孝之

2014年春夏出場。春ベスト8。夏2回戦大阪桐蔭戦では右中間に本塁打を放つも敗退。現在NPBで活躍するメンバー達と共に高校ジャパンに選出されフル出場。投手として入学したが野手転向後にMax146キロを記録。捕手経験もあり「1試合7捕逸」の高知県高校野球の珍記録保持者でもある。

⑦ 背番号： 77 番 選手名： 武村 貴仁

2年時に1984年春ベスト8。夏は悲願の初出場だった。この年に学校名改称を行ったため、春1回戦は「明徳高校」2回戦からは「明徳義塾高校」として登場した。春の準々決勝1点差を追いかける展開での八回の攻撃中に痛恨の2塁牽制死。マスターズでは走塁に特に厳しく采配をふるう監督である。